

文京区景観計画見直し フィールドワーク 企画書

2025年10月

1.文京区景観計画の概要

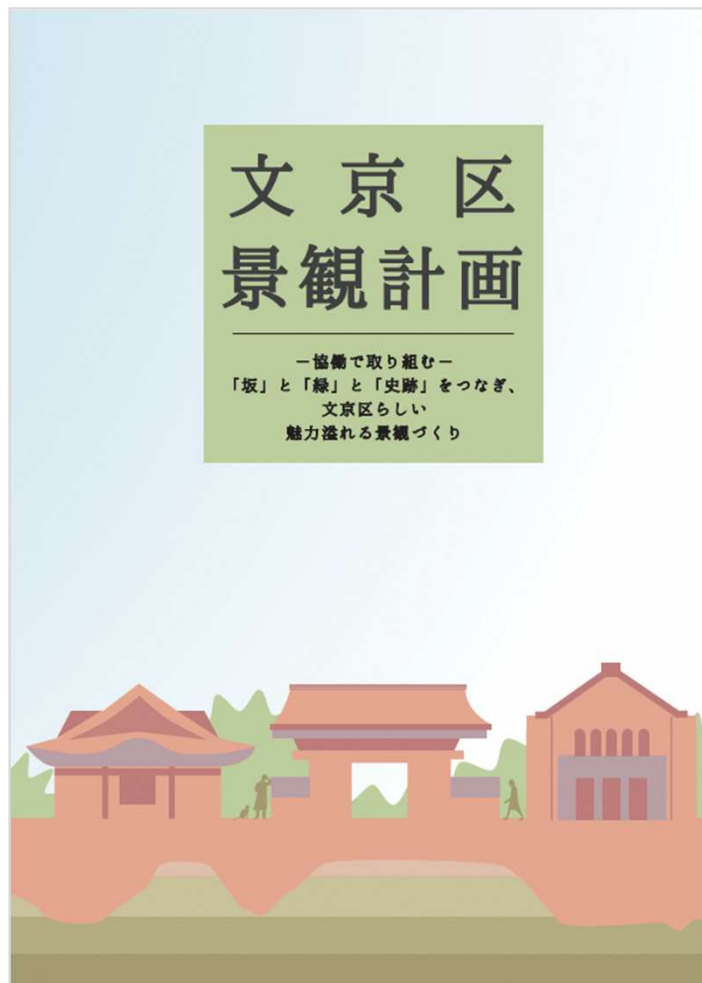
- 平成25年10月に文京区景観計画を策定

～協働で取り組む～
「坂」と「緑」と「史跡」をつなぎ、文京区らしい
魅力溢れる景観づくり

を景観づくりの目標とし、
文京区らしい景観づくりのための「基本方針」と「景観形成基準」を定めている。

《文京区の景観特性の例》

- 坂道が多数存在する起伏に富んだ地形
- 区内各所に点在する文化財や文人ゆかりの史跡
- 下町風情が残るまち並み
- 社寺が多く集まる寺町
- 自然や潤いを感じられる神田川沿い
- 多くの人が集まる拠点
- 大名庭園などを利用した大規模な緑のまとまり



策定から12年が経過。
都や区の上位計画の改定や区内景観の変化を踏まえ、計画の見直しを行う必要性。

2. フィールドワークの概要

目的 計画見直しにあたり、若者の意見を取り入れるため、区内大学生によるフィールドワークを実施し、その意見を見直しの参考として活用する。

範囲 都市マスタープランで都市拠点と位置付けられている範囲※のうち、各大学が希望する範囲。

将来都市構造図



- ※
- ・ 白山駅・本駒込駅周辺
 - ・ 湯島駅周辺
 - ・ 本郷三丁目駅周辺
 - ・ 春日駅・後楽園駅周辺
 - ・ 茗荷谷駅周辺
 - ・ 御茶ノ水駅周辺
 - ・ 水道橋駅周辺
 - ・ 飯田橋駅周辺
 - ・ 江戸川橋駅周辺
- の9か所。

2. フィールドワークの概要

方法 事務局が提示した確認事項・視点に沿って、各大学が授業・ゼミ・演習等の一環として現地調査及び結果取りまとめを実施。

参加大学 2025年10月時点での参加大学一覧は以下の通り。(五十音順)

参加大学	跡見学園女子大学	中央大学	日本女子大学	文京学院大学	明星大学
担当教授	山本博一 教授	三浦詩乃准教授	薬袋奈美子教授	岩舘豊助教	米田正彦教授
学生数	ゼミ生6名	ゼミ生5名程度	ゼミ生3～9名	ゼミ生3名	修士1年生3名
調査範囲	茗荷谷駅周辺	春日駅・後楽園駅 周辺	飯田橋駅周辺 江戸川橋駅周辺	白山駅・本駒込駅 周辺	本郷三丁目駅周辺

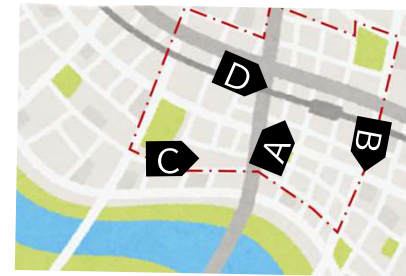
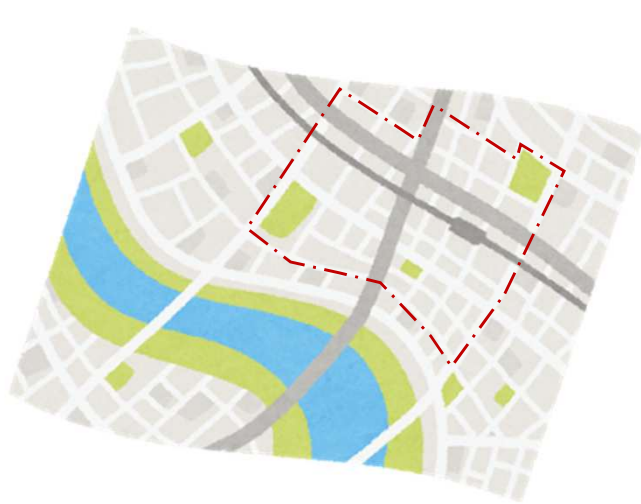
スケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フィールドワーク関係	調整、準備		フィールドワーク実施		まとめ	<div>フィールドワーク報告 (学生出席予定) 1月下旬もしくは 2月上旬 平日午前・午後</div>	
景観づくり 審議会 小委員会							

3. フィールドワーク実施内容

概要

- 事務局から、都市拠点の範囲を示した地図と、現行の文京区景観計画のうち当該地区に係る景観形成基準をまとめたもの等を提供する。
- 大学ごとに都市拠点の範囲を現地調査し、①その地域を代表する景観、②問題を感じる景観、③良いと感じる屋外広告物、④問題を感じる屋外広告物を抽出する。（写真撮影、写真撮影地点記録、抽出した理由を整理。）
- 余力があれば、抽出した景観に対して、現行景観計画等の基準では足りない点、改善や追加したほうが良い内容等について提案する内容をまとめていただく。



成果物

- パワーポイントで成果を取りまとめ。
- 景観づくり審議会小委員会で発表して頂く。（発表は15分程度を想定）